

がんばる Vol.9 ファーマー応援記

このコーナーは、町内でがんばっているまたはがんばろうと考えている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。



左から正人さん、優人くん(7歳)、心結ちゃん(4歳)、陽翔くん(1歳)、季子さん、泰生くん(6歳)

地区担当農業委員
磯 善 男 委員

夕狩
森 正 人 さん
(29歳)

今回は、酪農業を営む親元で就農し、新たに和牛繁殖を始め、経営の規模拡大を図っている夕狩の森正人さんをご紹介します。

▼初めに、森さんのお宅の営農状況を教えてください。

【正人さん】酪農業と肉用子牛生産業（和牛繁殖）を営んでいます。現在、搾乳牛40頭、育成牛20頭、繁殖和牛13頭、子牛が9頭います。12haの畑では、自給粗飼料の牧草やデントコーンを栽培し、配合飼料は購入しています。

酪農部門は主に父と母が、和牛繁殖部門を主に私が担当していますが、協力し合って作業をしています。

▼就農のきっかけを教えてください。

【正人さん】栃木県農業大学校（農学部総合農学科畜産コース）を卒業後、大田原市湯津上にある全国開拓農業協同組合連合会の畜産技術センターに就職しました。ここでは、肉用牛肥育の仕事をし

ていました。その後、結婚を機に実家に戻り、就農しました。

▼以前から大規模に経営されていたのですか。

【正人さん】これまで酪農のみでしたが、5年程前に私が和牛繁殖を始めました。

畜産技術センターに勤めていたこともあり、肉用牛経営にも興味がありました。また、和牛繁殖農家の友人がおり、一から親切に教えていただけだったので安心して新しい部門に取り組むことができました。

最初は10ヶ月の子牛を5頭導入し、JAの和牛部会や子牛研究会等で情報を得たり、また和牛繁殖農家の友人には、今でも月2回位牛舎に来て助言してくれるなど、とても感謝しています。

▼これからのような経営を考えていますか。

【正人さん】和牛繁殖部門の規模拡大を計画しています。今年の6月に農地転用の許可を受け、約300㎡の牛舎を新築中です。

牛舎が完成したら、人工授精した和牛の受精卵を乳牛に移植して産ませる受精卵移植の件数を増やして行きたいです。

今は子どもが小さいので子育て中の妻ですが、将来は一緒に畜産農業を営んでいく予定です。

▼正人さんに一言お願いします。

【父・正勝さん】これまで乳牛経営主体で営んでいましたが、家族経営での乳牛の規模拡大には労力の面で限界がありました。

乳牛は現状維持とし、これからは和牛繁殖を規模拡大して収益を上げ、健康第一で経営してもらいたいと思います。

【磯委員】祖父の代から続く酪農業に加え、和牛繁殖を取り入れて経営規模拡大を図り、また矢板家畜市場で和牛子牛の最高価格販売者に既に2回なるなど、正人さんの活躍は目を見張るものがあります。これからも家族一丸となり、がんばってください。期待しています。



左から、磯委員、正人さん、大島委員、摩庭委員